ゲームマシン
THE GAME MACHINE

発行所
アミューズメント通信社
大阪市北区神山町14(第2松栄ビル)
〒530 ☎06（314）0309代
郵便振替 大阪307852
年間購読料（送料共）4,800円

謹賀新年
昭和五十一年 元旦

論潮

幸福という名のゲーム

——飛躍の年のはじまりにあって

明けましておめでとうございます。旧年中は、小社微力にもかかわらず、また筆力脆弱にもかかわらず、多くの方々から暖かい支持と励ましを得ることができ、まことにありがとうございました。飛躍の年、本年におきましてもよろしくご鞭撻お願い申し上げます。

さて今年の機械ゲーム機械娯楽についてであるが、いくつかの点において思春期から青年期へとうまく成長できるかどうか、という微妙な時期と言えよう。昨年はじめの混乱期が異常であったのとは反対に、業界内部が落ち着きを見せ、じっくりとしかも正しく発展しつつある今日、そういう点から見極めることが非常に重要だと考えられる。

レジャー産業全般を見た場合、過去二年間のわが国経済がマイナス成長となったため、停滞気味だが、余暇時間の増加を背景に内容に大きな変化が起りつつある。たとえばスポーツ部門への関心は高まってきている反面、ボウリングは急激に後退してきたし、旅行はブーム以上のものとなってきているし、映画館関係は縮小から一転して拡大傾向となってきている。

それらを通じて、いったい何が高い成長率を支えているか、と考えた場合、結局国民を真に喜ばせるものが、最も受入れられることになるのだ、という実にたわいのない結論に落ちつくことになる。そうなのだ。楽しいものごとを拒否することは、現在の情況から見て、あり得ないことなのだ。むしろ楽しくないことが世の中には多すぎ、ほとんどの人が生活の苦しさ、生きていく苦しさ、労働からくるストレス＝緊張に悩まされてきている。混乱と不合理は至るところにあるし、首をつっこめば、いよいよわけのわからぬことに悩むことになる。老若男女を問わず、である。

娯楽はそうした苦しみを、根底的には無理ではあるが、とりあえず取除いてくれるし、また、そうあるべきものなのだ。娯楽の中でも機械を媒介にする娯楽、そしてとくに機械ゲームは、すでに産業として確立しているわけだが、さらに楽しめるゲーム場が増えてきていることを含め、そういう意味で大変喜ばしいことになった、と言える。

しかし、である。ゲーム場というものが、必ずしもおもしろいゲーム場ばかりであるか、というと、やはりそう言い切れないところに、この業界の不充分さが出てきてしまう。ゲーム場というのは単にゲーム機を置いて客を遊ばせているにすぎない、という考えは依然として根強いのである。それは、ともすればいいかげんなことになり兼ねない。言いかえると、いいかげんさはある程度必ず風俗面に含まれているものではあるが、そのいいかげんさの度合が大きいと、おそらく今度こそひどい結果になりそうなのである。

繁華街のゲーム場、レジャー観光の中のゲーム場、スーパー、百貨店のゲーム場……とにかく昨年までかなりのピッチで増加を続けている。またゲーム場の運営に携わるオペレーターのレベルは数年前とは比較にならぬほど高くなってきている。すなわち、機械ゲーム人口は着実に増加し、社会の中にゲーム場はその存在意義において、しっかり根をおろしつつあるわけだ。

そうであるだけに、だからこそ、今年こそ、社会的地位がホントウのホンモノとしてゲーム場に与えられるかどうか、が問われていると言いたいのである。もちろん立派なゲーム場、世界的水準にあるオペレーターもすでに活躍中だ。しかし、全般的に、だれもが、というわけにはまだ行っていない。私どもが望むのは、正しい業界であるということは言うに及ばず、人間性尊重、人間を大切にする業界である、ということだ。つまるところ、人間性を無視したことは長続きするわけはないし、長続きさせてはならないものである。

高い技術水準、すぐれた着想、正しい運営、心暖い連帯感……こうした前提がほぼ確立しつつある現在、日本のゲームマシンはまさに飛躍の段階にあると言える。問題は、飛躍するしないを自分に問う主体の側にあるのだ。そういう意味で、いつまでも思春期の混乱に甘んじるか、あるいはたくましく活躍する青年期へとうまく成長するか、が今年問われているわけだ。

これから10年、20年、否もっと先まで、ずっと誇りと自信を持って携ることのできる業界であらねばならない、とするなら、今年こそしっかりと情況を見極め、自分に問い直し、可能な限り立派な業界になるよう、みんなの努力で進めたいものである。

本紙の力はまだまだ弱いが、以上のような方向については、骨身をけずってでも鋭意努力していくつもりである。互いの幸せのために——。

新年展望

やりがいのある仕事——

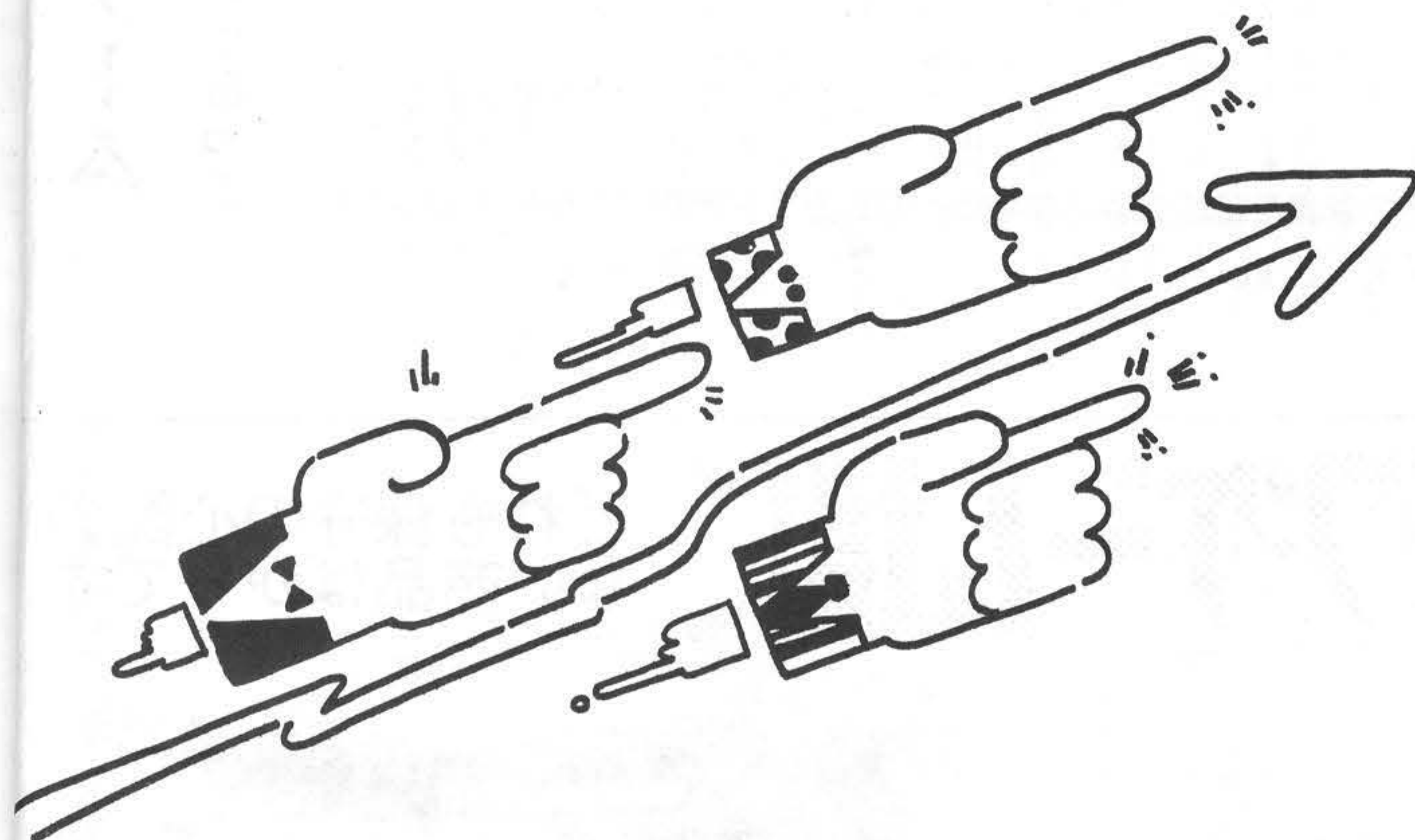
中村雅哉
㈱中村製作所　代表取締役
（全日本遊園協会　副会長）

新年あけましておめでとうございます。旧年中はみなさまがたのひとかたならぬご愛顧をたまわりまして、まことにありがとうございました。また公的な面で申しますと、ことに昨年十月の第十三回アミューズメントマシンショーを、みなさまがたのご協力で、無事大過なく盛大に営むことができましたことを、ここに紙上をお借りして改めてお礼を申し上げる次第です。われわれの業界が大変熱っぽいことを示したものと、驚きやら反省やらをかみしめております。本年もよろしくご鞭撻たまわりますようお願い申し上げます。

なにか今年の業界展望をとの本紙のお申し出がありましたので、勇み足にならないことを念じながらも、常日頃考え続けておりますことを、ご披瀝したいと存じます。

それは、

(1)　子供にこの仕事をぜひ継がせたいし、子供もぜひ継ぎたいと願っているほどに、自信のある内容を盛ろうとしているか。

(2)　他に良い仕事があったら、鞍替えしたいというような日和見的に、この仕事を考えていないか、であります。別に言えば「われわれの仕事は市民権を得ているのだろうか。われわれの仕事が市民権を得られるように、信念を持って立ち向っているのだろうか」、ということになります。たとえば、われわれの業界団体が法人格を賦与されないのには、われわれにおいて反省すべき多くの事が、あるのではないかもと存ずるわけです。もしわれわれ業者内部が、自家発電的に（業者自身の力で）「整序」された姿をとっておれば、自分の子供にも、たとえば銀行の質問にも、官公署による問責にも、あるいはまたロケーションオーナーにも、胸をはって浩然と自己主張ができるはずだということであります。

コピーに走り、または利潤のために世評に悖る営業に堕して、自壊作用をくり返しているならば、減速経済構造のもとで、なおわれわれの仕事が市民権を獲得することは、ほど遠いのではないか、を恐れる次第です。

当社では、ハードな面ばかりでなく、「仕事の在り方」という、いわば精神的な面についても、常にクリエイトする姿勢を強調しております。

新しい年が、市民権獲得へのせめて徐走にでもなればと願っております。

新年展望

未来への幕が開く

真鍋勝紀
(株)シグマ　代表取締役
（全日本遊園協会　理事）

この冬は、雪の訪れが遅かった。各地のスキー場では、業者が四苦八苦の有様だという。雪がなければ商売が成り立たないのだから、頼むは天の気紛れな心次第、雪不況などと書いた新聞もあり、気の毒なことである。

しかし、スキーなどのウインター・レジャーを業とする人達が、本当に羨ましく思えることもある。それは、決してニーズが減少することがない強力な武器を持っているからである。

雪が降ったというニュースを聞くと、私も何故かスキーに行きたいと考える。何故だろう。雪そのものが持つロマンチックでノスタルジィをそそる魅力は、もちろん否定できない。寒さから確実に守られるという条件をつければ、あるいは都市に積った場合の始末の悪さを除けば、雪を嫌う人などめったにいないと思う。だが、それがスキーに直接結びつくものとはいえない。

スキーというスポーツが持つ壮快さ、それもあるだろう。しかし、私のような初心者にとっては、壮快といえるようなものではないのだ。履き慣れない靴で足は痛むし、混んだゲレンデではぶつかるし、かといって動かないでいると寒いこと限りない。真直な板を二枚もくくりつけて、右に左に曲がるほうがおかしいとぼやいてみても始まらない。現実にいかにも恰好良く滑る人間がいるのである。

シーズンが始まる頃になると、テレビでも映画でも、そして道を歩いていても、粉雪を蹴立てて豪快に滑る上手な人の姿が、嫌でも目に入る。その度に、自分もあのように滑ってみたい、滑れるようになるかもしれない、という欲求がわいてくる。多分、このような幻想が私をスキー場に駆り立てるのだ。

そして四年に一度、オリンピックがある。そこでは、選り抜かれた選手達が信じられないようなテクニックを披露する。勝者は正に英雄である。オリンピック種目になっているスポーツが決してすたれないというのは、四年に一度のビッグ・ペィジェントがあり、英雄が登場し、そのスポーツの素晴しさを強烈にアピールするからである。

私が羨ましいという理由は、このようにシーズンの到来と共にスキーの魅力を際立たせる雰囲気が盛り上がり、世界中がその素晴しさを知ることができるペィジェントがあるということなのだ。

もし、私達のゲーム機械の世界に、これに匹敵するものがあったらどうだろう。たとえばフリッパーのチャンピオンが登場し、英雄になる。フリッパーのプロが、王や長島、尾崎や青木くらいの収入と人気があるということになったら、この想像は私をわくわくさせる。ゲームの未来は輝かしいものになるだろう。

逆にいうなら、私達のゲーム機械に対するニーズをより高め、より強固にするためには、このような強力なアピールの方法を作り上げていかなければならないということだ。

もちろん一足飛びにその段階まで到達するわけにはいかない。まずは個々の企業が、マーケットを拡大し、強固にする働きかけを行なう処から始めなければならない。これまで私達は幸せ過ぎる環境にあった。人の集まる場所に機械を置くだけという非個性的な消極的な姿勢で何とかやってこられた。しかし、そのような幸せな環境はもう失われたといってよい。これからは、場所に合った、客層によって異なる個性的なゲーム場を作っていかなければ、客を呼ぶことはできなくなる。いわば、ゲーム場の専門店化が必要である。そして、ゲームがいかに素晴しいものか、人間の生活に必要不可欠な潤いを与えるものか、積極的にＰＲしなければならない。客は黙っていても来るものではなく、ゲーム場に入った人だけが客なのではない。客は集めるものであり、作るものである。ゲームを一度でも楽しんだことのある人には、さらにすぐれた喜びを教えること、そして知らない人には、ゲームの存在と楽しさを知らせること、そういったマーケットに対する働きかけがなされなければならないのである。

私共のゲームファンタジアでも、そのために、より面白い機械を開発し、より深い機械の組み合わせを考え、多用なニーズ、様々な客層を吸収できる専門店を作り上げようとしている。そして、ゲームの素晴しさをいかに多くの人に知らせるか、各種の試みを続けてゆくつもりである。試み、確かにそれらはすべて試みでしかない。しかしそれは、初夢にも似たゲーム機械の未来に向かう唯一の確実な歩みだと信じている。いよいよ本番がやってきたという感じがする。

昭和五十一年は、私達の業界が未来に向かう幕が開いた年となるだろう。

新年展望

全国のオペレーター団結せよ

井上昭男
㈱マル三商会　常務取締役
（全日本遊園協会　理事）

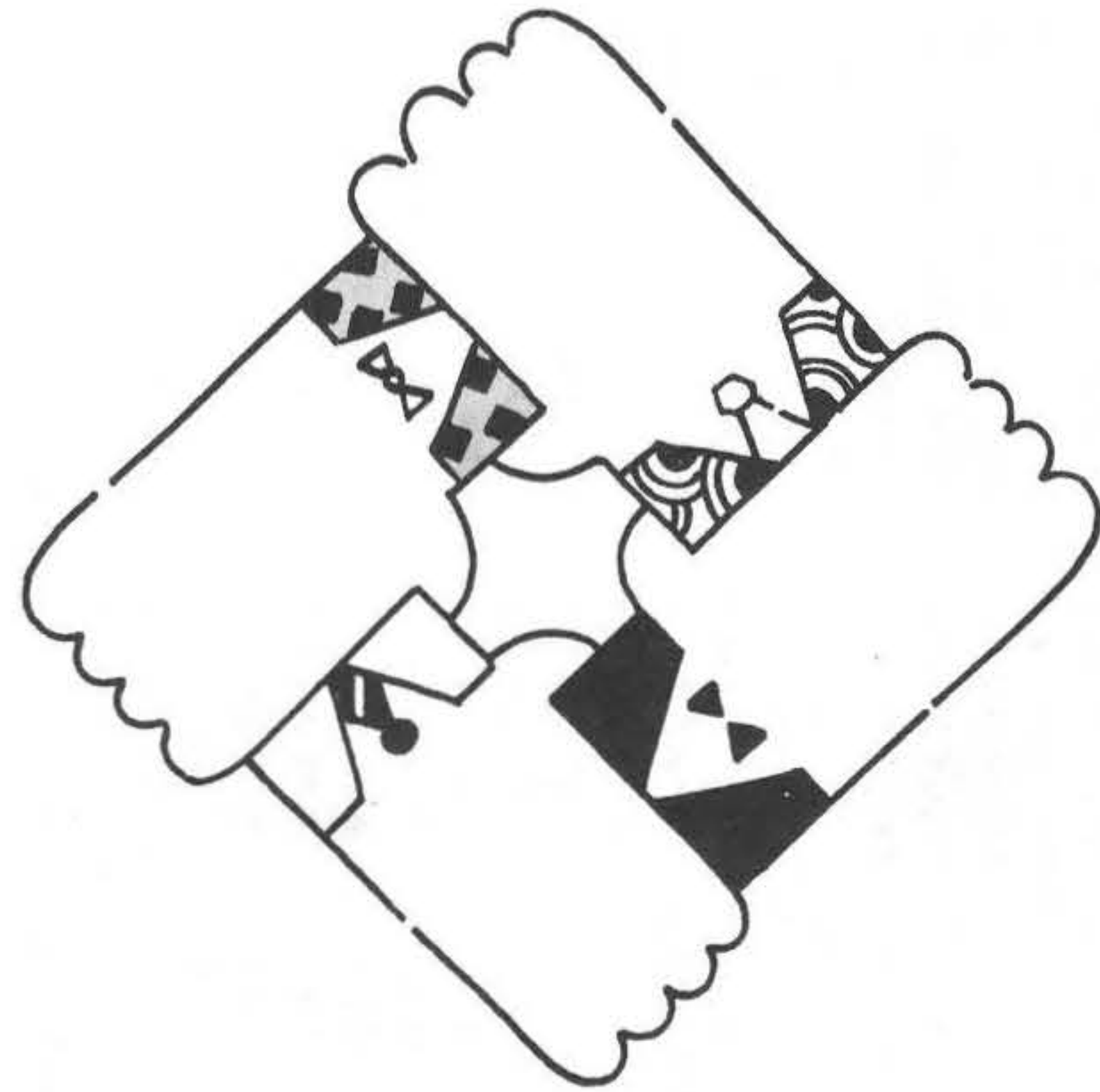
新たな年のはじめに当って、目下の状勢から、我々オペレーターとしてはいかにあるべきか、述べて参りたいと思います。

我々をとりまく状勢はきわめて厳しいものがあり、経済の全般的停滞から、オペレーターの売り上げは前年比で十ないし十五パーセント、悪いところではさらに二十パーセントも下ってきている、といわれるところまで落ち込んできました。なにもしなければ、つまりなにも努力しなければ、このまま全般的に下っていくことが予想されています。

では努力するとしてどう努力するのか、ということになりますが、そのさい、接客態度やサービスを良くするというのは常識以前の前提で、それだけではなんら成果は望められない段階にきています。

我々をとりまく状勢のきびしさは、多少の努力ではどうにもならないものであり、しかもこれを乗り切らねば、さらに十五パーセント下がるという恐しい事態になるでしょう。

こういう重大な局面にあって大切なことは、たえず原点に立ち戻って考える姿勢である、と考えられます。とくにオペレーターはゲーム場経営という客と機械の接点にあり、直接現場に携っているという重責の担い手であることを自覚せねばならないでしょう。言いかえれば、客が求めているものをもっとも的確にキャッチしていくのがオペレーターであり、また、そうでなくてはならないわけです。

ところが、機械について言うと、とにかくメーカーが作った機械を黙って買う、当ればよし当らなければしかたがないという受け身の形で機械を入れてきた。ずいぶんと以前から、そういう形で機械を入れてきてオペレーターは無理してきました。一番肝心なのが機械なんだ、とわかっていても、オペレーターはロケーションを持っているだけの微力な存在で、一方メーカーは多くのオペレーター相手に機械を供給する大手が頑張ってきている。このパターンを乗りこえる必要が、この現時点で、でてきたわけです。すなわち、オペレーターが要求するものをメーカーに作らせるところまで、オペレーター自身が積極的に動かないといけないのだ、というのが今年の基本線として出てきたのです。すなわちメーカーに対して、とことんオペレーターの要求をぶっつけ、オペレーターの喜ぶ、つまり客に楽しんでもらえる機械を作らせてゆく、というのが今年度の最大の課題なわけです。

そのための最大の条件ないし要素は、オペレーターのグループ化、組織化です。しっかりしたオペレーターのグループ化を通じて、その大きな要素のまとまりでメーカーに要求したものを作らせる。と同時に、オペレーター同士が手を結ぶことによって信用し合い、信用を与え合い、安心してロケーション運営に全力を注ぐことができる。また、開発力があるにもかかわらず小規模なために苦しんでいるメーカーに対しても、安定した需要・信用をとりつけて、全力をあげて良い機械を作ってもらえる、などの新たな展開ができます。

たとえば大手スーパーでのロケーションが系列化していて、それぞれのオペレーターが互いに手を結んで、機械購入を含め、オペレートの方法での情報交換などの協力を進めるという情況。実は、これはすでに進行中で、今年は全国化するはずです。さらにまた、大手スーパーのみならず、チェーン展開しているオペレーター、実績ある有力オペレーターが互いに団結して、オペレーター主導型の動きがいよいよ本格化していく。それが今年の大きな流れとなるだろうし、そうしなければ停滞を打ち破る契機が失なわれることになるでしょう。

グループ化のメリットは、第一に、オペレーターの立場を明確にするところにありますが、それはまた、メーカーの姿勢をはっきりさせるというメリットにもつながっています。ある大手メーカーの最新機種を例にとってみれば、狭い場所には六台セット、広い場所には八台あるいは十台セットと自由に組み合せられるシステムを採用しています。これなどはオペレーターの意見を採り入れた好例です。いくら優秀な技術を持っていても、オペレーターの意見を無視すると失敗につながり、採用すると繁栄につながる。そういったことを実地でメーカーが証明しております。なおつけ加えるなら、まだまだメーカーは努力すべきだし、その努力はオペレーターの意見を採り入れる方向でして欲しいし、そうせざるを得ない段階だということでしょう。

次に第二のメリットとして、機械の値段が格安になるということですが、大量受注により安くなるのみならず、メーカーサイドで安心して機械を作れることの意味も大きいと思います。まず、そのため、例えば最初五十台ぐらい作って、オペレーターがそれぞれのロケーションで実験する。あらゆる点からデータをとり出し、良ければ百台、二百台と作る。オペレーターとしては、また、自分たちで要求した機械だから黙ってでも買うぐらいの構えが当然となります。こういうパターンをつみ重ねて行くことによって、良い機械が安くできるし、メーカーも安心して作れるわけです。メーカーは規模の大小を問わずそういうことを認識するところに来ているし、我々としても必死で説いて回ってきているわけです。

この何年間でゲーム場のスペースは機械で一杯になり、スペースももうあまりない。だからこそ、良い機械、楽しめる機械、つまり見た目にも楽しく、音も出るし騒げる機械、そういうものを求めているのだが、従来のやりかただとメーカーの大冒険、それこそ危険な賭けによるしかありませんでした。もうそういうことはできないのであり、メーカーはオペレーターの意見を無視してはやっておれないのです。そのためにはオペレーターのグループ化が必須です。

グループ化、組織化の問題は、この業界で一番遅れていました。が、今年はいよいよ急速に進展していくことでしょう。私は昨年いっぱい、とにかくチェーン店をたくさん作ることに必死になってきました。実際店はたくさんできましたが、次はいかにして売上げを伸ばすか、内容を良くもていくにはどうしたらよいか、など多くの問題にとりくまざるを得ません。

そしてその中から、グループ化の時期が熟しておりこれをやらねばならない、仲間を集め、グループ化を通じて機械ゲームの新しい時代を迎えるか、従来のやりかたでどんどん落ち込むのを甘んじているか、が問われてきたわけです。

私はこの組織化の問題がうまく解決して必ず繁栄する業界になる、と確信するし、それ以外ないと考えておりますが、今年がその正念場となるでしょう。グループ化により経営基盤を安定化させ、新しい発展をかちとるためには、全国の優良オペレーターが団結せねばならず、しかも積極的な運動として展開せねばなりません。その自覚と責任感を持ってグループ化に積極的に参加するよう訴える次第です。

すでに事態は進行中です。今年はとくに、日本製品の輸出が注目されることになるようですが、さらに進んで、オペレーターの意見をとり入れた機械が、外国へどんどん輸出されることになるでしょう。質の良いオペレーターは、グループ化を通じてさらに、より高い水準へ進み、自分の主張を持って展開できることになるでしょう。メーカーは安心して、しかもより高い水準に立って良い機械を作ることに誇りを持つでしょう。我々は、従って、「全国の優良オペレーター団結せよ」のもとで、今年の運勢が問われている、と申して新年のあいさつにかえさせていただきます。

新年展望

めいわく

新春初笑い号

占い超大特集

《編集総責任者》
神山　明
小さな迷惑駆除協会会長
大きなお世話反対運動世話人

激論・ポルノ解禁を占う

伊仲佐和 VS 神山　明

ゲームマシン紙上に初おめみえのミニコミ・ジャックの雄、神山明先生が、新春にお送りする特集のテーマは、ズンバリ"占い"である。これこそ、人に迷惑をかけないという**ゲーム**であるかことにピッタシのらして、読者はよおーっく読み込んで、有賀たく実行せられたい。ゲーム人口の増加というものは、目をそむけたくなるほどに、あるいはヨラレが出るほどに、大きくなっておるのであることはいうまでもない野田。ゲームはリクツも長グツもなく、尾も白いのである。ゲームというと、まちがっても「芸無」などと書いてはいけん。これをもってゲームと読めんこともなかり滋賀、教ヨオの無い人は、ゲイナシと読むやもしれんからである。占いこそ、ゲームの中のゲームといえるじゃろうが。そこで占いの大権威者である**伊中佐和**さんに、神山先生が聞き役にまわって、大激論……すか、あれはどのようにして体得されたのでせうか。

伊中　あれはアタシの大邸宅のプールで泳いでいた時、発見してから始めましたの。

神山　プールと申しますと、アノ便所の横の風呂のことですか？

伊中　もちろん。そのプールでアタシ於奈良をイッパツやったの。すると水面上に浮かび出てきた於奈良はあぶくとなってふくらんで、なんでも予想できるようになったワケよ。これが今では知らぬ人とてない「伊中佐和の於奈良のかほり占い」ということね。

神山　イヤア、それはすごいことですね。しかしたくさん占ってもらうとくさいでせうな。

伊中　イヤアネ、そんな……でしょ。となれば、たとえアタシがやった於奈良でも、占ってもらう人は自分の於奈良だと思ってもらうのよ。そうすればゼーンゼンくさくないのよ、わかるう。

神山　なるほど。

伊中　せっかく来たんだから、一発占ってみようと思うのだけど、神山先生、なんか占ってほしいことはない？

神山　日本の景気なんてなるようにしかならないから占っても仕方ないし何がいいかな。うん、ポルノの解禁は今年やられるか、なんてどうでせうか。お願いします。

☆

――伊中佐和さんは、対談場所である神山先生の経営するラブホテルで、あっというまに全裸になったのである。読者にもおめにかけたいが、なにせポルノは解禁になっていないので無理。そして佐和さんは、バスルームに飛びこみ、しばしあってオナゴとは思えぬような一発をやり、眼を閉じておったが、突如、がばっと立ち上がり、水をしたたらせながら、神山先生の前に立ったのであった。

……なるかどうかについて口を開こうとした時、辛棒が立ってしまった神山先生は、あっというまに佐和さんに武者ぶりついていったのである。これでは、占いの結果も聞けないというので、「小さな迷惑駆除協会」のヒラ会員やシタッパ会員は、ばからしくなって去んでしまったのである。後日会員が、対談テープをまわしてみると――

☆

伊中　センセ、あせっちゃだめよ。

神山　わかっておる。どうだ、ええじゃろ。

伊中　スー、スー、ハッハッ、ズー、ズー、ウンウン、ウーン。

神山　スコッ、スコッ。

伊中　佐和に思いっきりさわってちょうライ。

神山　ヨッシャ、ヤリマクルデェ。

☆

てなワケで、激論が一変して激突になり、テープ採録もばからしくなって中途半パであるが、お許しいただいて、このへんで激論は中止したい。アホクサイ話だが、相手が匂い占いの人なので仕方がないのだ。

布施がきら氏（歌手）

ぼくって人は、芸能界の人なら誰でもそうかもしんないけど、占いなんかにすごく左右されるのよね。信じなければいいと思ってても、ついついだめなんだなあ。よい占いが出れば、モチ信じるし、悪い結果が出ると、これまた考えこんだりするんですね。何んで占うかと云うと、積木でやるのだけども、西日が当たる部屋でやるとよい毛が出るみたいだな。伊中佐和さんの「於奈良のかほり占い」もよくやってもらうんだけど、去年は、佐和さんに作ってもらったお守りの匂い袋のおかげで、「セイリメンのかほり」は大ヒットして、うれしかったなあ。よく傘なんかを立てて、無念無想で手を離すと、その倒れた方向で占えるなんてことがあるけど、傾いたコウモリ傘占いって云うらしいね。ぼくも大きなお世話運動には、共感をもってるのでね、神山先生にはがんばってもらわなくちゃ。ぼくは前に未婚の父事件というスキャンダルでワリを食ったんだけど、うるさい奴には「大きなお世話だ。放っといてくれ」と云ってやったんだ。その時の積木占いでは、黙って耐えろって出たのよね。ああっもうこんな時間になってる。テレビ局に行かなくちゃ。ぼくはいつまでここに居るんだろうか。（談）

大発展大成功　ゼッタイ間違いなし

占星術師・神山明先生が明確に予想

神山先生は、実を言うと世に隠れたる占星術の大家である。読者の皆さんの占ってほしいことを必要にして十分なまでに本特集のために占っていただいた。以下は、神山先生じきじきの御執筆である。

占星術には、二種あるをまず叫びたい。ひとつは、天変占星術と名づくものであり、いまひとつをいい後者にいわゆる運勢を見るもので、ショミンがよく見てもらいたがるのはコレだ。ヘレニズム文明のおっさんであるプトレマイオスは、その著『テトラビブロス』において、占星術を大成したのであったが、この通りに実行しうる者は、まれである。多くは、わが国でも行われおる四柱垂命法にてやるのとなんらかわらぬ方法である。そこで完全主義をモットーとしておるワテが、厳密な法にて、占星を行ないたいと思う。

牡羊座（3・21～4・20生まれ）は、正義感の強い人で、職業としては駅の改札係が向いているのではないか。**牡牛座**（4・21～5・21生まれ）の人は、純粋な心の持主で、適職は、お酒のブレンダー（きき酒役）。**双子座**（5・22～6・21）は、迷いやすい性格なので、大都会の地下街などへ迷いこまぬように。**蟹座**（6・22～7・23）は排他的な人なので、会員制クラブのママなんて向いていないだろうか。**獅子座**（7・24～8・23）は、気まぐれなところがあるので、郵便配達人が最高だろう。**乙女座**（8・24～9・23）は、非常によい星で、理想家肌であり、すばらしい異性とめぐり会えることもあるとされているが、例外の方が多いともされ……**天秤座**（9・24～10・23）は迷信が嫌いな人なので、いかにワテが占おうとも耳をかさないので、ツギへ行こう。**蠍座**（10・24～11・22）は、歌にもあったように、人をひきつけるところがあり、ひきつけを起こしやすいので気をつけるように。**射手座**（11・23～12・22）は、現状に満足できない人なので、パチンコでよく失敗しがちだ。**山羊座**（12・23～1・20）は、不況なんかにもコタエナイ人なので、政治家が適職。**水瓶座**（1・21～2・19）は、不可能に挑むのが好きな人なので、ナポレオンの格好をして椅子のCMに出演するとよい。**魚座**（2・20～3・20）は人にご馳走することの好きな人なので、女性ならアルサロのホステスが向いておる。

蛮声珍語

読者の皆さんに、年の始めに当たって、とっくりと考えてもらいたいことが有馬す。つまり今まで生きさらばえてきた人生の並木路において、人に迷惑を掛けなかったか、ということだ▼たとえばだ、ヨカ女性が歩いているとすると、君は近よって行って「歩くと痛い、魚の目やタコには、マンコロリが……るなら、「小さな迷惑駆除協会」会長のワテが、出動せんとあかんのや。たいがいにしときや▼そいでもってもひとつ考えてもらいたいことは、人に嫌がられているのに、大きなお世話をしなかったかどうか、だ。やってるだろうが。「小さなお世話」のうちは、相手も喜んでくれるが、「大きなお世話」になると、たいていのショミンは、嫌な顔をしたり、しまいには怒ったりする野田、ロコツ、ロコツ▼ショミン人種というのは、仕末におえんもんであるからしてからに、くれぐれも大きなお世話だけは焼くのはやめておこう。これだけ言うても分からん人は根っからのショミンだからして、「大きなお世話反対運動」世話人のワテとしては、二度と大きなお世話は焼かんぞ。

性格占い

い　ろ　は

メイワク型
スケベエ型
シンセツ型
セワヤキ型
イジワル型

第8回全日本ルーレット選手権大会 開催

佐藤晴行氏が優勝

阿佐田哲也氏は第2位で入賞!!

明るいルーレット定着

日本ルーレット研究会（東京都渋谷区渋谷二の十八の八、和田研究所内、☎四〇〇―六六八八、和田静郎会長）主催の第八回全日本ルーレット選手権大会は、十二月十四日午後、東京銀座のTSKCCCアルサー館で盛大に開かれ、予選を通過してきた強者の中から昭和五十年のチャンピオンが誕生した。

大会進出まで漕ぎつけたのは約百五十名。その中から決勝参加まで進んだのが二十名。そして栄光の優勝杯（カサノバ杯）は、佐藤晴行氏の手に渡った。同氏はルーレット歴六年、新宿パンドラルーレット教室所属で、日本ルーレット研究会の会員でもある。同会の認定でこれまで三段だったが、優勝により五段に昇格した。なお優勝の副賞はヨーロッパ旅行と豪華。また女性ナンバーワンディーラー賞は寺師賢二氏、ベストドレッサー賞は和田浩太郎氏が、それぞれ受賞。変ったところでは、本賞第二位の阿佐田哲也氏。氏は麻雀のほうでは有名で、ギャンブル評論家としてマスコミで活躍中。パンドラルーレット教室の創設時以来の会員でもある。また、和田静郎氏は第十位にとどまった。

主催者側では大会の盛上がりに自信を見せ、大要次のように語っている。

「今大会を通じてわかったことは、全般にルーレ

くなってきているということだ。事実ルーレット人口は増加してきており、そのためルーレットの奥行も深くなってきている。

ージがすでになくなって明るいイメージになっている点も非常に喜ばしいかぎりである」。

表彰式で佐藤氏（右）と和田氏、下は会場風景

たばこ値上げ 風営遊技場で大わらわ

十二月十八日からたばこの値上げが実施され、風俗営業としての遊技場では景品たばこの取扱いが変るため、歳末にもめげず、手続きを進めている。ここでいう遊技場は許可を必要とするもので、パチンコのほか雀球、アレンジボール、チャレンジボール、クレーン、オリンピアなど。

警察当局の指導としては、①旧価格のたばこは旧賞品球の交換玉数で交換すること、②新価格の景品たばこに関して、交換率変更により「営業方法変更届」をすみやかに所轄警察署に提出すること、③近隣営業所間の不均衡を生じさせないよう、切りかえは地域で統一すること、④新価格によるたばこ交換率を場内掲示するなど、周知徹底を図り、トラブル防止に努めること、となっている。

なお、新旧たばこの識別方法は、㋑シール（直径一・六センチの円型でNPの文字入り）貼付のもの、㋺セロハン包装の場合で、開封テープが白色のもの、㋩セロハン包装でない場合で、青い封かん紙のもの、のいずれかであれば新価格。それ以外は旧価格のたばこである。

レジャー人口の推移

独身女性のパチンカー 五人に一人

経済企画庁の発表

十二月十五日に経済企画庁が発表した九月実施の独身勤労者消費者動向調査の内容は、ことの外面白く、端的に言うと、独身者のレジャーでボウリングの人気は落ちる一方だが、半面女性ではパチンコ、マージャン人口が増加を続け、独身女性の五人の一人がパチンコをしている――としている。ピンクのヘルメットもあることだし、よい傾向と言えるが、ふつうのゲームコーナーにもどんどん女性に進出していただきたいものだ、と本紙記者も語っている。

㈱さとみ社長に 里見治氏就任

アレンジボール機のメーカー㈱さとみ（本社＝東京都板橋区徳丸四丁目十七の十、☎九三六―四五一一）では、このほどトップの異動を実施、もとの専務里見治（はじめ）氏が社長に昇格し、もとの社長里見治夫氏は会長となった。なおこれは昭和五十年十一月に実施されたものである。

ゲームコーナー拝見

ぼくは雑踏を徘徊するのが好き
すっかり街に定着したゲーム場

三原 伶

ぼくは散歩と雑学が好きと言えば、植草甚一氏の本の題であるが、これをぼく流に言いかえてみれば〝ぼくは散歩と雑踏が好き〟というようになる。こうして原稿を書いている場所は、わがアパートの一室であるのだが、ただ一人で、酒を飲むでもなくぼんやりとしていると、無性に雑踏が恋しくなってくる。

近所をぶらついてみたとて所詮コンクリートで固められたアパート群が並んでいるだけで、なんの面白味もない。いやそうではなく、面白味が容易には見えてこないようになっていると言った方が適っているだろう。

躁にあう繁華街

となれば、散歩が好きといってもそれにふさわしい場所、つまり雑踏を必要条件としていることになる。だから、散歩と雑踏が好きというよりも雑踏を徘徊するのが好きだ、といま一度言いかえる必要がある。

徘徊症という精神分裂病の一症状がある。ぼくは自分で判断するに、躁的傾向の強い時には、徘徊症に近い様相を示してしまうらしいのである。

躁的状態には、気分は爽快となり、目立って発現するのは、日頃は寡黙なのに、非常に多弁となり抑制がきかなくなるといったことである。

躁的状況に合うのは、まさしく雑踏であって、決して閑静な住宅街や団地のアパート群ではないのである。世ににぎやか好きという人がいるものだが、雑踏を徘徊している時のぼくという人間は「おにぎやかで結構でやんすな」などと、独りごちつつ、往時の幇間もかくありなんと得手勝手に思いめぐらしながら、ひょいひょいと腰も軽く、歩きまわるのである。

躁とはまるで正反対の鬱的状態には、よく落ち込むのであるが、どうもこの鬱という字にしてからが鬱的であり、書いていて嫌になり、辞書を見てもグチャグチャと黒いかたまりになっていて、拡大鏡でもなければ、定かに見えないという鬱陶しさである。

とある日、例のむずむずした躁状態になって、繁華街をぼくは徘徊していた。勤め人ではないので、昼間でも時間は自由になるぼくは、いく分かの後ろめたさを抱きながら、おちこちとなんの当てもなく歩いていた。そんな時、いつも通っていたパチンコ屋がかねてより工事していたと思ったら、なんとゲーム場に一変していたのである。

そこで歩きながら考えたのであるが、なるほどパチンコ屋はたくさんあり、いつまでもその人気は落ちそうにないが、澎湃として現れてきたゲーム場がはたしてパチンコ屋を変えてまで興さねばならぬほどのものかと。

そうこうして、また躁状態でしばらくぶりにその店の前にさしかかってぼくは二度びっくりすることになった。なんとまたその店は、パチンコ屋に戻っていたのである。

にぎやかな図案

といったからとて、ゲーム場が雑踏から消えてしまったかというと、そうでもなくて、一時ほどの派手さで見えてはこないが、いまやにぎやかな街に必ずつきものの遊び場として定着したようなのである。大都市近郊のちょっとした街にあるゲーム場がどんな状態かはよく知らないが、巨大都市の中に点在する繁華街を見る限り、ゲームコーナーは、その街にもともとあったかのような、つまり以前なんの店であったかが思い出せないほどに定着したようなのだ。

ぼくは、心中にて快哉を叫びながら、雑踏に栄光あれ！と思うのである。映画館、芝居小屋、パチンコ屋、ゲーム場、そして酒場や料理屋が、駅前をよぎる雑踏のにぎやかさは、面白うてやがて悲しき……といったある種のもの哀しさをぼくに与えるのである。でもぼくは徘徊をやめるわけにゆかぬ。「好き」なのだから歩かねばならぬ。

ゲーム場といっても、ぼくはメダルのゲームよりも、フリッパーなどがある（専門的にはアーケード部門とかいうらしいのである）コーナーが好きになってきている。その空間には、ぼくの躁的状態にぴったりと合う気分が確かに存するのだ。

そうだ、あのフリッパーの盤面を見たまえ、にぎやかであり、装飾過剰とでもいえる図案が、まるで手招きしているように思えるではないか。

フリッパーに夢中

それは、赤毛の女が呼ぶウイザードというのだったり、宝塚歌劇団のスターのような恰好をした女の絵のファーアウトであったりする。よく見かけるのは、飛行機の前でスチュワーデスが笑みをたたえ、横向きのホットパンツの女が手を挙げているボンボヤージュというフリッパーである。そうかと思えば水中にある城らしい建物に向かって泳いでいるたくましい男女（半裸であり、スーパーマンのような扮装をしている）が描かれているアトランティスなどというのもある。もうこうなるとぼくの眼はあっちへ向き、こっちへ向きという風で、やたら嬉しくなり、手の舞い足の踏む所も知らずといった躁の心地よき気分に入り込むのである。

アメリカのあでやかにして派手な、悪しざまにいえばゴテゴテしたイラストレーションの真骨頂が、フリッパーの盤面を彩る図案だと思うのである。トップカードというフリッパーは、空中に傾いて浮かぶゴンドラに、トランプのキングとクイーンが乗り込んでいるのである。陽気になったぼくは、硬貨を投入してハンドルを放ち、両横についた赤いフリッパーボタンをさっと指で押さえて身構えるのである。レーシングカーの図柄のスピンアウトや赤いボールが並ぶサッカーなどというフリッパーのなかでもぼくの好きなのをやっていると、少年の日の遊びへの熱中をふと思い出したりするのである。

でもサーカスというフリッパーにどぎつく描かれたピエロを見ているとまたある種のもの哀しさに包まれるのである。これもまた雑踏の彩りかと思っていたフリッパーの図案が、世心地のはかない人間のすさび事であると、ピエロをして語りかけてきた時、ぼくは虚を衝かれ、機械をゆすってしまった。すると、フリッパーの盤面にTILT（ティルト）と文字が浮かび、作動しなくなったのである。躁になったとて、機械をゆすってはいけない、見るとピエロは涙を流しているではないか。西洋の幇間の涙するを見て、興の醒めたぼくは、再びにぎやかな図案の方へと徘徊して行く。

（みはら・れい フリーライター）

謹賀新年

(50音順)

朝日科学模型遊園株式会社
代表取締役 佐原十郎
〒599-03 大阪府泉南郡岬町淡輪一三八七―二
電話 〇七二四九（四）三〇六三

エース自動機株式会社
代表取締役 村上公伯
〒154 東京都世田谷区野沢二―二〇―一
電話 〇三（四一〇）〇五二五

大阪自動娯楽機組合
組合長 峯久
〒533 大阪市東淀川区西淡路町一―二二二
ビジネス新大阪二二一号
電話 〇六（三二二）一三三二

大阪パシフィックベンディング株式会社
代表取締役 井上和郎
〒550 大阪市北区金屋町一―二三
電話〇六（三五一）七四三一

株式会社 カトウ
代表取締役 加藤春夫
〒562 大阪府箕面市新稲五丁目二一―一四
電話 〇七二七（二三）五七五七

株式会社 カトウ製作所
代表取締役 加藤イサム
〒157 東京都世田谷区北烏山七―四―一
電話 〇三（三〇九）〇三三一

加藤鈑金工業
代表者 加藤繁一
〒567 大阪府茨木市沢良宜西一―二―一一
電話 〇七二六（三五）一八八六

株式会社 カワクス
代表取締役 川楠俊太郎
〒577 大阪府東大阪市稲田一四一四
電話〇六（七四五）二七八四

株式会社 関西企業
代表取締役 松元哲士
〒561 大阪府豊中市名神口三丁目九番一号
タイヨービル五階
電話 〇六（三三三）〇三二三

株式会社 関西精機製作所
代表取締役 古川謙三
〒615 京都市右京区西京極豆田町三
電話〇七五（三一一）九二四五

キクチハンドメイズ工業株式会社
代表取締役 菊池賢一郎
〒547 大阪市平野区加美東四―一―一
電話 〇六（七九一）四五六一

コナミ工業株式会社
代表取締役 上月景正
〒561 大阪府豊中市豊南町西三丁目六番九号
電話 〇六（三三四）〇三三一

サービス・ゲームス
代表者 森武司
〒562 神戸市兵庫区入江通三―一―二七
電話 〇七八（六七一）一九〇三

三洋電機電装機器株式会社
取締役社長 後藤清一
〒550 大阪市西区土佐堀通四―六一
電話〇六（四四三）五一四一

株式会社 シグマ
代表取締役 真鍋勝紀
〒157 東京都世田谷区成城九―三二―三
電話 〇三（四八四）二五四五

謹賀新年

(50音順)

株式会社 ジャトレ
代表取締役 竹内清一
〒102 東京都千代田区平河町一―四―三
平河町伏見ビル
電話 〇三（二三〇）〇六七一

新晃商事
代表者 白石俊一
〒533 大阪市東淀川区西大道町三丁目一三二
電話 〇六（三二九）三〇二〇

株式会社 タイトー
常務取締役 中西昭雄
〒102 東京都千代田区平河町二―五―三
電話 〇三（二六四）八六一一

株式会社 タイヨー
代表取締役 岡田昌之
〒562 大阪府箕面市新稲五丁目二一―一三
電話 〇七二七（二二）二七七一

玉福産業株式会社
代表取締役 橋本頼松
〒612 京都市伏見区深草西浦町三―七五―一
電話 〇七五（六四一）五八三四

株式会社 ツムラ
代表取締役 津村三百次
〒536 大阪市城東区諏訪二丁目七―三
電話 〇六（九六九）三五三二

株式会社 東亜自動電機製作所
代表取締役 江見一男
〒556 大阪市浪速区広田町二七
電話〇六（六三三）四五〇一

株式会社 中村製作所
代表取締役 中村雅哉
〒144 東京都大田区多摩川二―八―五
電話 〇三（七五九）二三一一

日興精機株式会社
代表取締役 山口松太郎
〒556 大阪市浪速区元町一―七四八
電話〇六（六四一）六八〇七

日本物産株式会社
代表取締役 鳥井末治
〒530 大阪市北区南森町四六
八千代ビル南館
電話〇六（三六五）〇六六一

日本ベンディング販売
代表者 大原義裕
〒563 大阪府池田市八王寺一丁目一―二一号
電話 〇七二七（五二）一九八〇

株式会社 パブコ
代表取締役 瀧沢保博
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷三―一一
電話 〇三（四〇五）五六四五

バリーサービス株式会社
代表取締役 池実
〒542 大阪市南区南綿屋町二三―一
電話〇六（二一三）五二五五

フジエンタープライズ株式会社
代表取締役 上山武夫
〒160 東京都新宿区北新宿一―七―二二
電話 〇三（三六五）〇六一一

株式会社 ベンドジャパン
代表取締役 的場昭一
〒556 大阪市浪速区水崎町十八番地
電話〇六（六四三）三八五七

マックスプラザーズ
代表者 角野博光
〒544 大阪市生野区巽北二丁目五―三一
電話 〇六（七五二）四七七五

株式会社 マル三商会
代表取締役 河合久雄
〒658 神戸市東灘区魚崎西町四―二―二七
電話 〇七八（八四二）〇三〇三

ユニバーサル販売株式会社
代表取締役 渡辺一弘
〒110 東京都台東区上野五―一一―一
植松ビル
電話 〇三（八三三）九五八一

株式会社 吉山商事
代表取締役 吉山彰彦
〒652 神戸市兵庫区永沢町四丁目一番四号
電話 〇七八（五七六）六一〇〇

株式会社 ワイプ
代表取締役 本木宏昌
〒650 神戸市兵庫区切戸町五―二五
電話 〇七八（六五一）〇〇七五

任天堂 EVRRACE

イーブィアール・レース

EVR

1-2 4倍 1-4 6倍 2-3 8倍 2-5 10倍 3-5 16倍
1-3 5倍 1-5 7倍 2-4 9倍 3-4 13倍 4-5 15倍

連勝枠番・配当

1－2	4倍	2－4	9倍
1－3	5倍	2－5	10倍
1－4	6倍	3－4	13倍
1－5	7倍	3－5	16倍
2－3	8倍	4－5	15倍

仕　　様

寸法	W	640mm
	D	860mm
	H	1,550mm
重量	テレビ	20kg
	EVR	28kg
	キャビネット	55kg

株式会社ベンドジャパン

VEND JAPAN COMPANY LIMITED

本　社　〒556 大阪市浪速区水崎町18番地　☎ 06(643)3857(大代表)
沖縄支店　〒901-22 宜野湾市伊佐44　☎ 09889(7)4631
株式会社西日本ベンドジャパン　〒745 徳山市今宿町1丁目16　☎0834(21)0279